

4 月上旬の高温等により、生育は昨年より 7 日程度早い状況です。このまま経過すれば、ふじの開花は昨年より早まる見込みです。本年は、果樹類全体に生育が早く、開花前の高温で満開まで一気に到達する可能性がありますので、各園の生育状況をよく確認し、適期の管理作業・薬剤散布に努めてください。

黒星病対策のため、今回から 5 月下旬までは防除間隔を 12 日程度として進めてください。尚、予防を基本としていますので、雨が続く前の散布を徹底してください。併せて、越冬害虫（ケムシ類他）の発生も昨年より早い状況です。主要害虫の発生状況を確認し、多発する前の散布を徹底してください。

りんご



ふじ生育状況調査(調査地点:平岡若宮)					
* 展葉時点:前年比-7日、平年比-7日					
年度	発芽	展葉	開花	満開	落花
平年	4/4	4/15	5/2	5/5	5/11
H26	4/3	4/15	5/2	5/3	5/10
H27	3/31	4/8	4/25頃		

～ 参考 ～

南部と北部地帯の生育差は、現状では 3～4 日程度と昨年より小さい状況です。

本年の開花は、地域や土壌条件により前後しますが、南部地帯で 4 月 23 日頃、平岡地帯で 4 月 25 日頃と予想しています。

◆ 開花期の薬剤散布

散布時期は、蕾のセパレート状態（中心花と側花の蕾が離れた状態）が確認された以降から、ふじの花が 1～2 輪咲いた時が適期となります。

散布時期：4/23 ～ 4/30 頃 *注意事項③、④参照

* 上記は目安となります。各園の生育状況を良く確認してから散布してください。

散布薬剤：水 1 0 0 ^{リットル}

展着剤 1 0 ml

オンリーワンフロアブル 5 0 ml（7 日前、3 回） *注意事項⑤参照

サムコルフロアブル 1 0 2 0 ml（前日、3 回）

対象病虫害：黒星病・黒点病・赤星病・うどんこ病・ケムシ類・ハマキムシ類・（アブラムシ類）

10 アール当り散布量：400 ^{リットル}

散布日：4 月 日

散布量： ^{リットル}

【注意事項】 *必ずお読みください。

① 訪花昆虫の保護のため指定薬剤以外使用しない。

② 収穫中の他作物等への飛散に注意する。

③ 黒星病等の一次感染を抑えるため、雨が続く前に散布することを徹底する。

④ 開花前が高温で、アブラムシ類の発生が見られる場合は、ウララ DF2,000 倍（14 日前、2 回）を加用する。

⑤ オンリーワンフロアブルに代えて、オーシャインフロアブル 3,000 倍（7 日前、5 回）でもよい。

⑥ 不明な点は、営農センター担当までお問い合わせください。（Tel23-3933）

◆ 落花期の薬剤散布は裏面をご覧ください。

◆ 落花期の薬剤散布

散布時期は、前回より 12 日後とする。（ふじの落花後を目安）
開花期の薬剤散布が遅れた場合は、今回の散布を前倒して実施する。

散布日：5 月 日
散布量： リットル

散布時期：5/5 ～ 12 頃 ＊注意事項③参照
＊上記散布時期は目安です。各園の生育状況を確認してから散布してください。

散布薬剤：水 1 0 0 リットル
展着剤 1 0 ml
アスパイア水和剤 2 0 0 g （30 日前、3 回） ＊注意事項④参照

対象病虫害：黒星病・黒点病・赤星病・うどんこ病・（ケムシ類）・（ハマキムシ類）

10 アール当り散布量： 450 リットル

- 【注意事項】 ＊必ずお読みください。
- ① 結実後の生理落果助長の回避のため、5 月末までは有機リン剤（ダズバン DF、サイアノックス水和剤、ダイアジノン水和剤等）は使用しない。
 - ② 6 月末まではサビの発生しやすい時期なので高温時の散布は避けること。
 - ③ ケムシ類の発生が目立つ場合は、フェニックスフロアブル 4000 倍（前日、2 回）を加用する。
 - ④ アスパイア水和剤に代えて、スコア MZ 水和剤 500 倍（30 日前、3 回）でもよい。
 - ⑤ 不明な点は、営農センター担当までお問い合わせください。（TEL 23-3933）

- 【ふじの人工授粉のポイント】 ＊下記をお読みください。
- ① 人工授粉を実施する時は、気温・湿度・天候等の授粉環境を複合的に考慮すること。（降雨・強風・極端な低温（最高気温 20℃以下）・極端な高温（30℃以上）の日はできるだけ避ける）
 - ② 基本的に開花始めから満開期までが授粉能力が高い。よって開花始めから満開までのできるだけ早い時期に実施すると結実率が高くなる。
 - ③ 授粉後 3 時間は極端な低温とならないような日を選択すること。（あまり遅い時間まで実施しない）
 - ④ 授粉後に降雨があった場合は、3 時間以上経過していれば大丈夫であるが、3 時間以内に降雨があった場合は再度やりなおすこと。
 - ⑤ 土壌が乾燥していると開花が揃わない傾向がある。乾燥が続く場合は、開花予定の 10 日前に灌水を実施する。

（参考）中生 3 種とふじの交雑和合性

♀ ♂	ふじ	秋映	シナノ スイート	シナノ ゴールド	メイポール
秋映	○	×	○	×	○
シナノスイート	○	○	×	○	○
シナノゴールド	○	×	○	×	○



◆ 凍霜害を受けた場合の応急技術対策

- 1. 胚珠の黒変したものは、落果するので、被害程度に応じて摘花(果)の強さを加減する。
- 2. 被害を受けたものは、サビ果・不正形果が多いので、摘果に際しては特に傷の少ない長めの正形果を残す。
- 3. 摘果は結実が確実となったらすみやかに行い、少なくとも満開 30 日以内に終了する。